
柴犬

サダコレ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

柴犬

【Nコード】

N4276G

【作者名】

サダコレ

【あらすじ】

だからさー！そもそもクリスチャンベールがさージョンコナーなのがさー…

（前書き）

いずれ僕は死ぬんだろう

皆さんは犬を飼っていますか？わたしは飼っていますよ！柴犬をね。かわいいんですよね。かわいくて後ろから大根で殴りかかりたいんだっ！！さてさて今日は飼っている犬にぎりっぺをする人について書きたいと思っています。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

そもそも犬にぎりっぺをする人がいると思いますか？答えはイエス！少なくとも犬にぎりっぺをしている瞬間を、私は30回は見ていますよ。

犬の嗅覚は人間の一億倍ともいわれています。

犬にぎりっぺしたら死んでしまうんじゃないの？

心配ございやせん、少し痙攣するぐらいです。…ぐったり。みたいな？はい、ぐったり。ピクピクみたいな？冗談ですよ（笑）でもその人の行動、変なことばかりじゃございやせん（笑）ここで（笑）いらんよね！

土曜日の散歩なんて一時間はいきやす！ええ。一番近くの踏切まで行ったりするんですなあ。

時には犬の前で言葉もわからない犬に向かって、

「あ〜うまい、あ〜うまっ！」

と、ビールのおつまみを口に入れたりもしますよ、ええ。

…だけどそんなかわいい柴ちゃんも、もう13歳。最近のご飯もめっきり食べなくなったとか…。

死ぬ前に浮かぶのは、長い散歩に連れて行ってくれた人の顔ではないだろうか。中学生の時にあって、精神がずたばろな僕を救ってくれたワンちゃんに感謝したい。

何十年かたって僕が死んだ時に、あの世で会話できたらいいな。待っててね！

うん、まだ死んでねーよ！

(後書き)

いや、今はしなんけど

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4276g/>

柴犬

2010年10月15日22時51分発行